「愛のキューピットとして」　　　　　　　　　　　　　　　　　　No.3　雪

私は今、母エメラルドと一緒に Ai 先生のアセンションアカデミーに参加し、一なる至高の根源へむかって『親子でアセンション』を目指しています！
『アセンション』という言葉を知ったのは 2010 年 10 月ころ、『天の岩戸開き』を母から薦められて知りました。
その頃の私は、「生きることへの喜びとは何なのか」、「もっと幸せで楽しい暮らしは出来ないのか」、「このまま一生同じような毎日を繰り返し、年をとっていくのか」と、未来の事を考えるともどかしく、どうしようもない気持ちでいっぱいになっていました。
高校時代、宇宙への興味が強かった母から、「地球は学校のようなもので、ここの学びが終わったら、次の学校へ進んでいくんだよ。」という話を聞いたことがあり、その話は私にとってとても魅力的で、夢のようなものでした。その夢が、確信に変わったのが、『天の岩戸開き』を読んだ時です。
夢物語だと思っていた、地球より高度な世界へ≪進化(神化)≫していく事、それが『アセンション』である事や、自分の本来の姿である、永遠無限の魂という存在の事、ハイアーセルフという高次元の自分が居るということ、今住んでいる日本という国の神聖さ、歴史の深さに感動したのと同時に、私の心の中にあったモヤモヤがパーっと晴れていくのを感じました。
「天の岩戸開き」を少しでも時間があれば読みたいと思い、満員電車の中で必死に読んでいました。本を読んでこんなにワクワクと興奮した事は無く、神様の名前は漢字がいっぱいで読めないけど、心の深いところから読まなくちゃいけないという気持ちが湧き上がってきました。やっと自分の地球での使命を感じ、それをもともと知っていたような不思議な感覚もあり、心の底から安心したのを覚えています。
この宇宙とは愛から生まれた愛だという事、そして地球の物質や生物、全てが『愛』から生まれた事、これは自分の中にあった『愛』の意味を大きく変えました。私は『愛』をどこか遠くの大きく立派な感情というように感じていました。でも実際、『愛』とはとても身近にあるものだと知りました。自分自身が愛であるという事は、とても大きな衝撃であり、また、とても幸せな事でした。
そして、『愛』のある行動は、正しいと教わらなくても正しいと知っていたという事を思い出しました。誰かを思いやる優しい心や、誰かの笑顔が見たいと思う心、綺麗に咲いた花を見て幸せに思う心、全ての人が幸せを感じる事こそが、『愛』であると思いました。
私の使命はこの地球を愛でいっぱいの星にしていく事です。相思相愛の愛の星を目指し、全ての人を繋ぐ愛のキューピットとして、すべての人に、あなたに愛を贈っていきます。